

# 令和6年度事業評価結果(課・室)総括表

会計区分 一般会計  
 課・室名 生涯学習・文化財課 (単位:千円)

事業名	区分	経費区分	福井県長期ビジョンにおける位置づけ	関連する県の計画等	事業区分			事業開始年度	経過年数	令和7年度予算額	財源内訳				評価に基づく今後の対応											
					実行予算	補助金	その他				国庫	起債	その他特定財源	一般	拡充	継続	整理統合	縮減	休止	廃止	終期の見直し	完了	その他	見直し額		
書写指導員派遣事業	終了	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			H19	19									○								2,292
文化財指定促進事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県文化財保存活用大綱	○	○		H26	12	8,663	2,706				5,957		○									—
福井の文化財緊急修理事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県文化財保存活用大綱		○		H27	11	13,803				13,803		○										—
福井の文化財を未来へプロジェクト	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県文化財保存活用大綱	○	○		R5	3	34,772				34,772				○								26,319
文化財継承基盤整備事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県文化財保存活用大綱	○			R2	6	1,106				1,106		○										—
社会教育関係団体活性化事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画		○		R3	5	2,193				2,193				○								194
こども歴史文化館魅力向上事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R4	4	445				445				○								1,660
子どもの読書活動推進事業	拡充	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	第4次福井県子どもの読書活動推進計画(R7.3策定予定)	○			H15	23	4,137	729			3,408	○											—
わくわく読書活動応援事業	終了	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	第3次福井県子どもの読書活動推進計画	○			R5	2									○								1,139
「白川文字学」普及活動事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			H17	21	913				913		○										—
福井県立図書館 書架増設事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R6	2	34,511	22,432			12,079		○										—
青少年教育施設を活用した首都圏の子どもたちとの交流事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R6	2	5,354			3,216	2,138				○								1,012
埋蔵文化財調査センター 収蔵庫建築事業	新規	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県文化財保存活用大綱	○			R7	1	4,275		4,000		275												—
					11	4				110,172	25,867	4,000	3,216	77,089	1	5	1	4		1						32,616

## 書写指導員派遣事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		〔 福井県教育振興基本計画 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
県内小中学校で書写の指導に不安を感じている教員が多いため、実技の面で指導のサポートが必要						小学校:書道免許を所有する教員が在籍する学校 約24% 中学校:書道免許を所有する教員が在籍する学校 約21%						
[事業目的]												
書道団体と連携して、書写指導員を学校に派遣し、児童・生徒の書写技能と教員の指導技術の向上を図る。												
[事業内容]												
書写教育の推進 (1)書写指導員の派遣 81校(小学校69校・中学校11校・特別支援学校1校)1,051時間 410学級 47名を派遣 候補者リスト登録 74名												
[受益者] 児童生徒・教員						[想定される受益者数] 約11万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな部活動指導体制推進事業 (役割分担) 高校については、「新たな部活動指導体制推進事業」(教職員課)を活用					
市町との連携状況	・学校から出される申請、報告等の取りまとめを依頼。書写指導員から提出された情報などは市町教委に提供。					他県の状況	なし					

## 書写指導員派遣事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾武章		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							事業 区分
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額													
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		2,695	2,695	2,695	2,292		事業廃止						
2月現計予算額の推移		2,695	2,695	2,695	2,292								
決算額の推移		2,568	2,648	2,568									
前年度までの 主な増減理由	令和2年度から高校については、「新たな部活動指導体制推進事業」(教職員課)を活用												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績								児童・生徒の書写技能および教員の指導技術の向上を図るための事業であり、定量的に成果を把握することは困難である。				
活動指標	書写(書道)指導員がサポートする学校数 (目標) 実績	(70) 74	(70) 81	(70) 79	(70) 81	—	(70)	(70)					令和7年度から令和9年度までに210校を目指す。
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
派遣実施校からも教員の技能向上や児童・生徒の書写に対する意欲の高まり、書字能力の向上が見られたなどの報告があった。 ・派遣校81校 1,051時間 ・書写指導員派遣候補者リスト登録 74名				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,292		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

# 文化財指定促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		〔 福井県文化財保存活用大綱 〕					
[解決すべき問題・課題]  県内の文化財の価値付け、保存、活用が十分に行われていない。						[問題・課題を表す客観的データ] ・国指定文化財 福井県182件 石川県218件 富山県95件 岐阜県261件 愛知県479件 三重県297件 滋賀県827件 ・県指定文化財 福井県432件 石川県355件 富山県211件 岐阜県936件 愛知県641件 三重県596件 滋賀県440件						
[事業目的] 県内にある未指定の文化財の掘り起こしと価値づけを行うとともに、県民の財産である文化財を保存し、学校教育や観光への活用を図るため、国指定等に向けた調査を推進する。												
[事業内容] ○指定候補文化財の調査 ・井田家旧蔵古写真 ・大瀧神社建造物 等  ○文化財調査特別顧問の配置												
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有				事業名 文化財保護審議会 (役割分担)
市町との連携状況	県実施事業も市町と協働して調査を実施するとともに、市町実施事業についても補助して調査を進めていく。					他県の状況		—				県指定文化財の指定について審議等を行う

## 文化財指定促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R11 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	県1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	8,663	2,706				5,957	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		6,647	8,041	2,331	8,461	8,663	・文化庁による国指定に向けた文化財調査の件数と回数の増加に伴う旅費の増額 ・通常調査(県指定)に伴う委託料と使用料の増額					
2月現計予算額の推移		6,647	8,041	2,331	8,461							
決算額の推移		5,504	7,291	2,331								
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3 一部調査廃止による減額(大滝地区文化財レベルアップ調査 廃止)</li> <li>・R4 戸祝い行事の調査事業終了年度による報告書刊行等による増額</li> <li>・R5 調査完了による減額(R5 戸祝い行事、旧京藤甚五郎家住宅調査 完了)・R4、R5 三田村家文書・大瀧神社文書の歴史資料調査事業終了による減</li> <li>・R6 調査開始による増額(井田家旧蔵古写真調査、大瀧神社建造物調査)</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	文化財の新規国・県指定件数	(目標) 10 実績 4	(10) 4	(10) 11	(10) 4	(10)	(10)	(10)	年ごとに実際の新規指定件数に多少の増減はあるが、県指定を年間10件を目安に指定を進めていく。また、文化庁調査官を招聘し、国指定への格上げを目指す。※実績件数は調査年度に反映。			
活動指標	文化財調査件数	(目標) 27 実績 29	(27) 34	(27) 30	(27) 36	(27)	(27)	(27)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
活動指標の調査件数については、目標達成。一方、成果指標の新規県指定については、目標未達。 (事業による要因) 調査に想定以上の時間を要し、指定に至っていない文化財があるため。				国指定物件は文化庁調査官、県指定物件は文化財保護審議会委員と調査日程を調整のうえ円滑に調査を実施し、目標通りの指定件数を目指す。☒				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	—	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 福井の文化財緊急修理事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章						
事業主体	各市町				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度					
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他	経過年数	11 年
補助率	事業費の1/6																
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化財保存活用大綱 ]										
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]											
福井県の魅力を発信するうえで、文化財を修理し、活用してくこと、また崩壊する恐れがある文化財について、緊急的に修理が必要である。						・崩壊の危険があるが修理を先延ばしにしている件数 1件(荻野家住宅)											
[事業目的]																	
歴史的魅力にあふれた文化財群を修理・整備することにより、福井県の魅力発信する手段として活用する。																	
[事業内容]																	
重要文化財のうち、崩壊の危機など緊急性の高いものにかかる修理事業を支援																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧瓜生家住宅            解体工事等</li> <li>・丸岡城天守            耐震補強工事、屋根工事等</li> <li>・大滝神社本殿及び拝殿    屋根葺替工事</li> </ul>																	
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人											
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)            事業名					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有            事業名 (役割分担)										
市町との連携状況						他県の状況											

## 福井の文化財緊急修理事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	各市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R11 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	事業費の1/6											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	13,803					13,803						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		19,739	29,579	9,101	4,283	13,803	要望件数が1件から3件に増加したことによる増額					
2月現計予算額の推移		19,739	29,579	1,765	3,208							
決算額の推移		18,928	28,584	1,765								
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3 補助率調整による減額</li> <li>・R4 交付件数増による増額</li> <li>・R5 事業組換えによる減額</li> <li>・R6 修理内容による減額</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	緊急修理が必要な文化財の総数に対する補助件数割合(%)	(目標) (100) 実績 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100)	(100)	(100)				
活動指標	補助金の交付件数	(目標) (2) 実績 2	(3) 3	(1) 1	(1) 1	(3)	(2)	(2)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・市町から要望のあった事業については、予定どおり補助金を交付することにより活動目標は達成した。 財政面の問題等により要望にあげることができなかった事業に対しては、今後の事業の進め方の助言等行うに留まった。				・市町からの要望により補助金交付件数が増加した。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	—	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 福井の文化財を未来へプロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外(地おこ)	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	7 年度
事業実施方法	直営、補助			経過年数					3 年			
補助率	事業費の1/15											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化財保存活用大綱 ]					
[解決すべき問題・課題] 文化財修繕のための適切な技術者や材料が県内では乏しく、国指定では県外業者への発注となる。そのため修理費が高額となり、県内に事業費がほぼ還元されない。						[問題・課題を表す客観的データ] 所有者自己負担:大安寺・西福寺とも2億円超 重文施工元請ができる会社:県内1社						
[事業目的] 全国的にも主要修理の「大安寺」および「西福寺」をモデルとし、所有者の負担軽減や技術者育成等の課題を解決し、修理事業による効果の県内循環を創出することを目指す。												
[事業内容] (1)補助金交付による適切な文化財修理の実施 大安寺、西福寺の修理を着実に実施するため、県補助金を確実に交付する。 (2)資金調達のためのクラウドファンディングの情報発信支援 所有者がクラウドファンディングによる資金調達を行う際に、情報発信支援として、地域おこし協力隊を活用する。 (3)技術者育成、県産品にかかる研修会等開催 文化財修理現場にて技術者育成のための研修会を行うとともに、県産品の生産および活用のための研修会を開催する。 (4)観光等による地域活性化 大安寺および西福寺の大修理を全国にPRするため、修理応援イベントを実施し、地域活性化および観光客の増加を目指す。												
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 福井の文化財緊急修理事業 (役割分担) 「福井の文化財緊急修理事業」では、緊急的に修理が必要な文化財に補助金を交付し、本事業では、修理を通して、所有者の負担軽減や技術者・材料等の課題を解決するモデルとなる文化財に補助金を交付する。				
市町との連携状況	国、県、市が文化財所有者へ補助金を交付する。(補助率 国4/5、県1/15、市1/15)					他県の状況						

# 福井の文化財を未来へプロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外(地おこ)	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	事業費の1/15											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	34,772					34,772						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				59,000	61,091	34,772	・大安寺、西福寺の修理補助金の減額 ・技術者育成、県産品に係る研修会経費の増額 ・修理現場見学会の取止めによる減額 等					
2月現計予算額の推移				55,431	56,339							
決算額の推移				53,054								
前年度までの 主な増減理由	R6 地域おこし協力隊に係る経費、県産品に係る研修会経費の増											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	重文等修理に携わる県内中核技術者(人)			(6) 実績 6	(10) 10	(16)		(16)	中核技術者:重文等修理第一線で活躍し、人に教えることができる方を想定 ※人数は累計数			
活動指標	修理現場での研修会開催(回)			(5) 実績 2	(5) 3	(5)		(15)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
適切な文化財修理の実施、情報発信支援、茅研修会、修理現場見学会、デジタルアート等各種事業を計画通り実施した。修理現場研修会も成果指標は達成できたものの、活動指標の回数は、修理現場の状況により実施が難しく、減となった。				活動指標を達成するために、修理現場での研修会開催が確実に可能な現場を選定。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	26,319	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 文化財継承基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化財保存活用大綱 ]								
[解決すべき問題・課題] 平成31年4月の文化財保護法の改正を受け、「福井県文化財保存活用大綱」を策定し、県内文化財の総合的な保存・活用に向けて、文化財の基礎情報の把握と文化財の保護意識醸成等が求められている。						[問題・課題を表す客観的データ]  令和6年末現在文化財保存環境状況調査件数： 146件／約500件									
[事業目的] 有形文化財を中心とした、国・県指定文化財の保存環境等の状況調査を実施し、今後の文化財の保存・活用に生かすとともに、調査結果を学校教育等で活用することにより、文化財への保護意識の醸成に努め、次世代に継承していくための基盤を整備する。また、修理が必要な文化財の早期発見につなげる。															
[事業内容]  (1)国・県指定文化財の所在確認等調査 ・所在場所、所有者(管理者)等の確認 ・文化財保存環境状況等の調査 等  (2)県指定文化財台帳の更新・デジタル化、国指定文化財台帳データベースの作成  (3)リニューアルホームページ「福井の文化財」の運用															
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 文化財保護審議会 (役割分担)  文化財保存環境状況等の調査には、文化財保護審議会委員等の学識経験者とともに実施する。								
市町との連携状況	市町は、文化財所有者との日程調整を行い、調査に同行する。また、調査対象文化財を県・市町と共通の場で確認することにより、文化財の現況を共有する。					他県の状況									

## 文化財継承基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	—					□ その他			□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,106					1,106							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		1,158	1,158	1,003	1,023	1,106	調査担当委員交代および旅費単価増による旅費の増額 郵便代値上げによる通信運搬費の増額 消耗品費の増額						
2月現計予算額の推移		828	844	765	1,023								
決算額の推移		828	844	765									
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3 ホームページリニューアル完了による減</li> <li>・R5 事業内容の見直しによる、単年度報償費および旅費の減</li> <li>・R6 旅費単価の増による増額</li> </ul>											
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	指定文化財台帳の整備件数 (目標)	(100)	(100)	(100)	(100)	—	(300)	常時整備	調査対象文化財の紙媒体の台帳(総数約500件)を、年100件×5か年でデジタル化し、データとして整備。				
	実績	100	100	100	100	—							
活動指標	国・県指定文化財調査件数 (目標)	(34)	(139)	(139)	(75)	(75)	(250)	(500)	調査対象文化財(総数約500件)を10か年で調査				
	実績	22	29	33	25								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の指定文化財台帳のデジタル化は目標どおり達成し、紙媒体の台帳のデジタル化が完了。</li> <li>・活動指標の文化財調査件数については、目標を達成できなかった。(事業による要因)調査担当の学識経験者の多忙化により、調査日程の不調。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、調査可能な学識経験者について広く人材を確保し、調査が円滑に進むことを目指す。</li> <li>・国・県指定文化財を展示予定の県内博物館と連携し、展示前後での調査協力を図る。</li> </ul>				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								■ 継続	□ 休止	□ 完了	—		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

# 社会教育関係団体活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	社会教育関係団体				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] ライフスタイルの変化等により地域のつながりに対する意識が希薄化し、社会教育関係団体は、会員数の減少など団体が衰退。それにより、生活における相互扶助や伝統文化の維持、地域課題の解決等の地域の社会教育機能が低下。団体活動活性化に向けて、地域住民が参加したくなるような魅力的な教育プログラムの開発や活動の周知が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] H21の団体毎の会員数を 100 とする。 R元の // の会員数 57.3 R02の // の会員数 53.6 R03の // の会員数 49.8 R04の // の会員数 48.3 ※団体毎の会員数をH21と比較した割合の平均値						
[事業目的] 県域で活動する社会教育関係団体(以下、「団体」という。)が公民館等と連携して、子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民にSDGs達成に向けた多様な教育の提供を支援し、団体活動が活性化することにより、地域の社会教育を促進する。												
[事業内容] (1)社会教育関係団体がSDGsの達成にむけた活動プログラムを作成 (2)社会教育関係団体の活動プログラムをリスト化し、市町・公民館等に事業を周知 (3)県は、公民館等と社会教育関係団体が連携して行った場合、参加人数に応じて活動支援費を社会教育関係団体に支給 (4)団体、市町担当者、公民館関係職員(社会教育士を含む)等による「団体活動報告会・情報交換会」を開催(年度末)  <活動支援費(活動費の1/2)>  参加者(人) 活動支援費(千円) ① 1～19 60☒ ② 20～39 75☒ ③ 40～ 90☒												
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・市町に事業の周知、協力を依頼 ・団体、市町担当者および公民館関係職員(社会教育士を含む)等で、情報交換会を実施(R6.2.24)					他県の状況						

# 社会教育関係団体活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	社会教育関係団体				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	8 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,193					2,193						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		3,946	3,592	3,247	2,387	2,193	事業実績による申請見込金額の減額					
2月現計予算額の推移		2,564	2,135	1,970	2,387							
決算額の推移		616	1,238	1,305								
前年度までの主な増減理由		・R4 事業実績による申請見込の減 ・R5 事業実績による申請見込の減 ・R6 事業実績による申請見込の減										
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	団体会員数	(目標) (52) 実績 50	(51) 48	(47) 47	(46)	(45)	(45)	(44)	地域の社会教育機能の促進を団体会員数で測る。10年前の団体の会員数を100とするとR8の会員数は30.2Pと予測されるが、本事業により、予測より14.4P増加する。			
活動指標	活動数	(目標) (50) 実績 12	(42) 23	(42) 22	(30) 31	(27)	(27)	(25)	団体が希望した公民館等と連携して教育活動を行った数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
R6年度の成果指標の団体会員数については、年度明けの調査により確認する。R5年度の成果指標およびR6年度の活動指標については、事業の活用推進に向けての対応もあり、目標を達成できた。				事務手続きのサポートや情報交換会等の活用推進に向けての対応により、令和6年度は実績件数が大幅に増えたため、7年度も対応を継続し、さらなる申請数増加による団体の活性化を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	194	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## こども歴史文化館魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
当館の利用についてはコロナ禍前の状態に戻りつつあるが、令和11年度目標利用者数の達成に向けて、更なる魅力向上に取り組む必要がある。						過去5か年の利用者数推移 R元年度 42,227人、R2年度 32,729人、R3年度 24,334人、 R4年度 24,926人、R5年度 42,246人								
[事業目的]														
小中学生などの来館者が楽しみながら学ぶことができるよう、展示エリアの設備更新を行うことにより、こども歴史文化館の魅力向上を図る。 令和11年度(開館20周年)の利用者8万人をめざし、周年事業、他館との連携事業、広報事業を計画的に行い、こども歴史文化館の利用促進を図る。														
[事業内容]														
・他館との連携事業 当館の利用促進を図るため、他館と連携し、来館者が見学、体験を行う形のイベントを企画、実施する。 当館展示に関連した複数の博物館等を回るバスツアーの企画、実施。														
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約6万人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	・特別展等のチラシやふくいの先人を紹介する絵本を市町教育委員会から各小中学校へ配布 ・県小学校長会や市教頭会、県小学校教育課程研究集会 社会科研究部会等において、小学校長、小中学校教頭、社会科教員を対象に当館の利用についてPRを実施。					他県の状況	ふるさと学習を目的に、子どもたちを主なターゲットとし、人物をテーマとした教育機関は全国にほとんど例がない。 (盛岡市(岩手県)、金沢市(石川県)、鹿児島市(鹿児島県)の3県のみ)							

## こども歴史文化館魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	445					445						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			5,206	6,138	2,105	445	・周年事業の完了による減額 ・事業内容の変更による減額					
2月現計予算額の推移			4,964	5,874	2,105							
決算額の推移			4,964	5,874								
前年度までの主な増減理由		・R5:事業内容の変更に伴う増(漢字ファンタジアの整備(ハード、システム整備)) ・事業内容の変更に伴う減										
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	利用者数(人) (目標) 実績	24,334	24,926	42,246	(60,000)	(63,000)	(55,000)	(70,000)	(中間目標)H29~R1の平均 (最終目標)中間目標から展示閲覧システムの稼働による校外学習の来館者数および企画展の来場者数の増加を見込む			
活動指標	団体利用した小中学生数(回数) (目標) 実績	38	41	53	(60)	(65)	(65)	(80)	(中間目標)H29~R1の平均 (最終目標)現在の1.6倍の利用			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・R6年度は、成果指標・活動指標ともR7.4月に実績が確定するため未記載。 ・R5年度は、成果指標は目標を達成できなかったが、活動指標は達成できた(事業による要因) ・8月までイベント等における参加定員制限等のコロナ対策を実施 ・子どもを含む全世代の興味関心を高めるための展示・企画の見直し不足 ・県民に当館を周知してもらう広報活動の不足				成果指標を達成できなかったことを踏まえ、7年度予算では以下の4点を強化し成果指標の達成を目指す。 ・来館者の展示への興味、関心を高めるための常設展示の見直し ・県民に当館を周知してもらう広報活動 ・他館との連携による当館の利用促進 ・校外学習、出前教室での利用増のための学校向けの利用プランのPR				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,660	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 子どもの読書活動推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H15 年度 経過年数 23 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等			[ 第4次福井県子どもの読書活動推進計画(R7.3策定予定) ]			
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
自主的に読書を楽しむ児童の割合が低い						ふだん読書をしない小・中・高校生の割合 小学校:24.6%(R5)、中学校:37.8%(R5)、高校:46.3%(R5)					
[事業目的]											
子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくりのために、家庭、地域、学校において子どもの読書活動を推進する。											
[事業内容]											
<ul style="list-style-type: none"> <li>○福井県子どもの読書活動推進会議の開催</li> <li>○子ども読書地域人材(学校図書館サポーター、読み聞かせの担い手)を育成</li> <li>○同年代に読書の楽しさを伝える「ジュニア司書」を養成</li> <li>○教職員や読み聞かせボランティア向けの研修会を開催</li> <li>○幼稚園・保育園・こども園での読書活動を応援</li> <li>○特別支援学校への読書支援</li> <li>○成長段階に応じ選定した推奨図書の普及啓発 等</li> </ul>											
[受益者] 0歳～高校生						[想定される受益者数] 約12万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名				
市町との連携状況	・市町教育委員会と協力して推奨図書の選定を実施 ・市町教育委員会と協力して、児童・生徒用のタブレットでの学校図書館蔵書検索を推進					他県の状況	・国は令和5年3月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を定めた。全都道府県が、子どもの読書活動推進計画を策定し、計画に基づく取組を実施している。				

# 子どもの読書活動推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 23 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	4,137	729				3,408	新しい地方経済・生活環境創生交付金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		4,475	3,759	3,849	3,270	4,137	・第4次福井県子どもの読書活動推進計画策定に伴う新事業実施により予算増額 ・わくわく読書活動応援事業を子どもの読書活動推進事業に統合により予算増額					
2月現計予算額の推移		4,475	3,759	3,849	3,270							
決算額の推移		3,912	3,348	3,348								
前年度までの 主な増減理由		R3 第3次福井県子どもの読書活動推進計画策定に伴う推奨図書を紹介した小冊子の印刷部数が増加したため予算増加 R4 推奨図書小冊子の印刷部数減およびライブラリーステイ(図書館に宿泊して災害を学ぶ)事業を休止したため予算減少 R5 推奨図書小冊子の改訂(3年毎)に伴う配布先増および福井県子どもの読書活動推進会議の委員増員のため予算増加 R6 推奨図書小冊子の印刷部数減および講演会等の開催数の減、市町担当者会議の開催方法をオンライン化したことによる予算減少										
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県立図書館における推奨図書 の貸出冊数	(10,000) 実績 12,491	(10,000) 13,271	(10,000) 13,735	(13,000)	(13,000)	(13,000)	(13,000)	県立図書館における推奨図書の貸出冊数を対象とする			
活動指標	講座等の参加者数	(325) 実績 430	(325) 472	(325) 460	(325) 396	(325)	(325)	(325)	子どもの読書を普及啓発する講座を対象とする			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
R5成果指標およびR6活動指標は、目標を達成することができた。 推奨図書の小冊子等の作成等により、県立図書館における推奨図書の貸 出冊数が目標を上回った。				第4次福井県子どもの読書活動推進計画策定に伴う新事業 実施				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	—	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## わくわく読書活動応援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					2 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県子どもの読書活動推進計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 自主的に読書を楽しむ児童・生徒の割合が低く、改善傾向が見られない。 読書が好きな割合は、小学生が全国で46位、中学生が全国で36位であり、小・中学生とも北陸3県の中で最も少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] ふだん読書をしていない小学生の割合:24.6%(R5)、中学生の割合:37.8%(R5) 読書が好きな小学生の割合:福井県68.6%、石川県75.2%、富山県74.2% 中学生の割合:福井県64.1%、石川県66.2%、富山県64.4%						
[事業目的] 子どもたちの身近な学校図書館において、県が選定した「推奨図書」を活用した企画への支援を行うとともに、学校図書館スーパーバイザーによる研修、助言、意見交換や、児童を対象とした読書活動推進のためのワークショップを行うことで、子どもの読書習慣の形成につなげる。												
[事業内容] 小冊子「子どもの成長段階に応じた推奨図書(小学生編)」の掲載図書(72タイトル)を活用した企画へ支援するとともに、読書活動推進に向けて新たな取り組みを実施する小学校に学校図書館スーパーバイザーにより、読書推進活動についての研修、助言、意見交換や、児童を対象とした読書活動推進のためのワークショップ等を行う。  <取組内容> ○推奨図書を活用した企画への支援  ○学校図書館スーパーバイザーによる研修や、助言、意見交換、児童を対象としたワークショップ												
[受益者] 小学生						[想定される受益者数] 約3万8千人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 子どもの読書活動推進事業 (役割分担) 「子どもの読書活動推進事業」では、赤ちゃんから高校生までの子ども全体の読書活動を推進し、「わくわく読書活動応援事業」では、小学生の読書活動を重点的に推進する。					
市町との連携状況	市町教育委員会と協力して、実施校を決定					他県の状況	・国は令和5年3月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を定めた。全都道府県が、子どもの読書活動推進計画を策定し、計画に基づく取組を実施している。					

## わくわく読書活動応援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	—					□ その他			□ その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額													
[予算額の推移等]												(単位:千円)	
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					2,139	1,139		事業の終了					
2月現計予算額の推移					2,139	1,139							
決算額の推移					1,123								
前年度までの 主な増減理由	R6 事業対象校の減による減額												
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ふだん読書をしない小学生 (目標) の割合 (%)				(23.0)	(15.0)		(20.0)	(15.0)	第3次福井県子どもの読書活動推進計画 目標 15.0%(R6)			
	実績				25	—							
活動指標	ブックトークの実施校数 (目標) (校)				(17)	(6)		(17)	(17)	取組の基礎となる「ブックトーク」の実績を採用			
	実績				10	6							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・R6成果指標については、文部科学省「学力・学習状況調査」の結果を指標としていたが、R6は当該項目の調査なし。 ・R6の活動指標は、目標を達成することができた。					「子どもの読書活動推進事業」に統合。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,139	
									<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 「白川文字学」普及活動事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	－											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  一般部門の白川静漢字教育賞への応募者数の減少						[問題・課題を表す客観的データ] 「一般の部」応募数 第1回62点、第2回64点、第2回69点、第4回72点、第5回69点、第6回66点、第7回38点、第8回16点、第9回11点 第10回14点						
[事業目的] 白川静博士が平成16年度に文化勲章を受章されたことを機に平成17年度より推進してきた本事業は、令和6年度で20年を迎えた。これまでは学校教育を中心に推進を図ってきたが、今後は、生涯学習において白川文字学を学ぶ場を提供する。												
[事業内容]  「白川静漢字教育賞」の開催 全国から応募のあった漢字教育の実践や児童生徒の作品のうち、優秀事例や優秀作品を表彰するとともに、全国へ発信することにより、漢字教育の発展を図る。												
[受益者] 児童生徒・教員						[想定される受益者数] 約11万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況	白川文字学に関する出前講座を児童館や公民館などで実施					他県の状況	なし					

## 「白川文字学」普及活動事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾武章			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	-					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	913				913									
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		1,506	1,505	1,445	913	913								
2月現計予算額の推移		1,606	1,606	1,545	913									
決算額の推移		1,221	1,174	1,141										
前年度までの 主な増減理由	R3 白川文字学ゼミおよび白川文字学漢字教室の実施回数減に伴い減額。 R5 白川文字学ゼミの実施回数減に伴い減額。													
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	「白川静漢字教育賞」応募 集数 (目標)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	令和2年度は漢字学習講座等への参加者数年間500人を目指したが、令和3年度からは「白川静漢字教育賞」応募者数500人を目指す。					
	実績	386	405	943	912									
活動指標	漢字学習講座等の充足率 (目標)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	令和2年度は漢字学習講座等の開催数年間12回開催を目指したが、令和3年度からは漢字学習講座等(令和6年度からは白川文字学講演会)の定員に対する充足率100%を目指す。					
	実績	100	100	100	100									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
成果指標および活動指標について、目標を達成することができた。「白川静漢字教育賞」の小中の部において、美術科や家庭科等との教科横断的な作品の応募が多く見られ、大幅な応募者数の増加につながった。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 福井県立図書館 書架増設事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R13 年度
事業実施方法	直営											
補助率	65/100											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 県立図書館に所蔵されている約123万冊の書籍を県民に迅速にサービス提供するためには、毎年度新規で受入する約2.6万冊の本・雑誌をNDC(日本十進分類法)規則に則って並べる必要があるが、書架が令和8年度に100%を超えることで規則的な配列ができず、書籍検索に多大な時間を要することになり図書館利用者に対するサービス低下は必至である。						[問題・課題を表す客観的データ] 書庫充填率(R6年度末時点での収容可能数で算定) R6:98%、R7:99%、R8:102%						
[事業目的] 190万冊(内、閉架書庫160万冊)の書籍を収容できる施設として開館した県立図書館であり、閉架書庫において94万冊分を収容できる書架は整備済みであるが、66万冊を収容する書架が未整備となっている。令和6年度に1.7万冊分の書架を追加予定であるが、それでも令和8年度には書庫充填率が100%を超える見込みであり、書架増設整備が必要となる。												
[事業内容] ・電動式集密書架の増設(令和6年度～令和13年度までの計8か年で353千冊増設)  令和7年度実施分 図書館書庫3階上層 Bエリア手前(30千冊収納可能)												
[受益者] 福井県内外の県立図書館利用者(主に県内)						[想定される受益者数] 504,669(R5来館者数)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	リポジトリ機能(県内で他に所蔵のない資料を県立で保存)を市町と検討中					他県の状況	石川県立図書館 収蔵能力 230万冊(令和4年開館) 神奈川県立図書館 50万冊を収蔵する新本館を建築(令和4年開館)。旧館は収蔵庫として改装し、収容能力を上げる。 岡山県立図書館 収蔵能力 230万冊(平成16年開館)					

## 福井県立図書館 書架増設事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R13 年度
事業実施方法	直営											
補助率	65/100											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	34,511	22,432			12,079	電源立地地域対策交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					15,997	34,511	書架の整備エリアが異なることによる増額					
2月現計予算額の推移					12,650							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	蔵書冊数	(目標) 実績	1,183	1,196	1,209	(1,225)	(1,249)	(1,297)	(1,393)	(単位:冊)毎年度、約25千冊所蔵数が増加する。県立図書館としての利用者に対するサービス向上のため一定数の追加購入・冊数の増加は不可欠である。		
活動指標	書庫充填率	(目標) 実績	94	95	97	(98.0)	(99.0)	(96.0)	(88.0)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
令和6年度について予定通り書架を整備した。 (成果指標・活動指標については、R7. 4に実績が出るため未記載)				引き続き書架の増設を継続。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	—	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 青少年教育施設を活用した首都圏の子どもたちとの交流事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課		課長名	志尾 武章			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	10 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]								
[解決すべき問題・課題]  (期待できる効果) 自然体験による自尊感情・外向性の向上						[問題・課題を表す客観的データ] 文部科学省「令和 2 年度 青少年の体験活動に関する調査研究結果報告」 小学6年生の頃の自然体験の機会が多いほど、高校2年生時での自尊感情が高い傾向がある。									
[事業目的] 北陸新幹線で来福する首都圏の子どもや福井県に興味のある子どもたちを対象に、青少年教育施設を拠点とした福井県の魅力を県内の子どもたちと共に体験する宿泊プログラムを提供することにより、福井県のすばらしさを体感してもらう機会とする。															
[事業内容] ○首都圏の子どもおよび県外の子どもを対象に、青少年教育施設を拠点とした宿泊プログラム(4泊5日もしくは3泊4日)を提供 (1)青少年教育施設での自然体験プログラムの実施および県内観光地の見学 ① 青少年教育施設での自然体験プログラム ② 参加者全員での県内観光地の見学 ③ 上記以外の滞在中にかかる経費 (2)受入体制の準備および広報 ① 教育ボランティアの育成研修の開催 ② 東京事務所等との連携による首都圏での広報															
[受益者] 県内児童、首都圏および県外の児童						[想定される受益者数] 130人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

## 青少年教育施設を活用した首都圏の子どもたちとの交流事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	10 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	-					□ その他			□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,354			3,216	2,138	諸収入(受益者負担)							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					6,366	5,354	・青少年教育施設を拠点とした宿泊プログラムの期間短縮による減額 ・事業内容削減による減額						
2月現計予算額の推移					6,366								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	アンケートでの自主性や協 調性を測る項目の肯定的評 価の割合(%)	(目標) 実績			(90) 98	(92)	(95)	(95)	プログラム実施による教育効果をアンケートにて測定 4段階評価のうち、「1 ととてもできた 2 わりとできた」の割合				
活動指標	参加者数(人)	(目標) 実績			(100) 97	(130)	(120)	(120)	参加者:県内児童、首都圏および県外の児童の数				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
各施設の魅力あるプログラムの提供と、教育ボランティアを育成し参加 者へのサポートを充実させたことから成果目標は達成した。 首都圏へのPR活動において、直接、家庭へ募集チラシが渡らなかったこ とにより活動指標は達成できなかった。				活動指標の未達成について、県外での広報の際に首都圏に 拠点を置く福井県関係団体を介したことで、募集チラシが直 接、担任等から子どもたちを通じて家庭に渡らなかったこと に原因があったと分析する。7年度予算では首都圏だけでな く中部圏や関西圏の県外へもPR範囲を拡張し、本県より派 遣されている教職員へ直接配布依頼するように変更し、活動 指標の達成を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,012		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 埋蔵文化財調査センター 収蔵庫建築事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	8 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	－													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 個性を伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化財保存活用大綱 ]							
[解決すべき問題・課題]  発掘現場から出土した埋蔵文化財について、埋文センターの保管能力を超過し、保管場所がひっ迫しているため、埋蔵文化財の保管場所を確保する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 埋文センター収蔵可能箱数:32,378箱 現在の収蔵箱数 :39,556箱(既存建物容量の122%) ※収蔵すべき埋蔵文化財は今後も増加し続ける								
[事業目的] 埋文センターにおける埋蔵文化財の保管場所を確保し、埋蔵文化財の遺物整理作業等の円滑な実施および埋蔵文化財の活用に資することを目的とする。														
[事業内容] (1)収蔵庫の建築 ・埋蔵文化財調査センターの敷地内に新たな収蔵庫(軽量鉄骨造のプレハブ)を建築														
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無  <input type="checkbox"/> 有 事業名  (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無  <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)  鉄道運輸機構、NEXCO、土木部、農林部等の事業実施機関が実施する事業において、事業箇所が埋蔵文化財包蔵地にあたる場合は、受託により、埋蔵文化財の発掘調査および遺物整理を実施する。							
市町との連携状況						他県の状況	他都道府県においても、センター建物内や収蔵庫にて埋蔵文化財を保管している。							

## 埋蔵文化財調査センター 収蔵庫建築事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	8 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	-					□ その他			□ その他					
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,275			4,000		275		地域活性化事業債						
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移							4,275							
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績													
活動指標	(目標) 実績													
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
-				-				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-			
-				-				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	-			